

## 自由会話 2 トンネルのできる前

(カセットテープ 7-2A14'45"から)

m 菊池庄之助 1890年生 農 業  
出 演 者  
f 沖山いちえ 1885年生 "

m ワーガ ネッコケ トキワ ウクノ カシタテト コッチノ  
わたしが 小さい ときは、 あそこの 榎立と<sup>1)</sup> こちらの  
ヤマノ トコロノ<sup>2)</sup> マン トンネルン ナッタル ウクワ  
山の ところの、 いま トンネルに なっている あそこ(と)は、  
トンネルデ ヌケテナクテ ウークワ アゲジャン アゲジャン  
トンネルで 通じてなくて、 あそこは 上へ 上へ  
シタカラ<sup>3)</sup> ヌワノ トコオ ハネミコグレン ナッテ ノミデモ  
下から 岩の ところを はねて行くぐらいに なって、 のみでも  
ハネミコゴン<sup>4)</sup> ヌンメデモ ナッテ ウクーツツ アーガラロアガ<sup>5)</sup>  
はねて行くように、 のみにでも なって あそこを 上がったものだね。  
f ワガ ジューシチハチノ ジブンダッタカ ソノトキノ トンネルガ  
わたしが 17, 8歳の ころでしたか、 そのときに トンネルが  
デキハズィメタラアガノ<sup>6)</sup> ソノトキー ナカノゴアノ モチーヤ<sup>9)</sup>  
できはじめましたがね、 そのとき 中之郷<sup>8)</sup>の とりもち屋に  
ミツキグリヤヤ<sup>10)</sup> カヨッタロアガ トンネルワ デキズ コッチン  
3か月くらい 通いましたが、 トンネルは できず、 こちらに

1) 大賀郷の東南隣りの地名。  
2) 「トコロ」と「ノ」との間に長い休止がある。  
3) [ʃ:takara]。[ʃ]の摩擦が強い。  
4) 「ゴン」は「加(ごと)」、「ように」の意。  
5) [a:gararouaga]  
6) ズィは [zi]。 7) ロアは [roa]。 8) 榎立の南隣りの地名。  
9) [motʃiŋa] 10) [mitsyikigurifa]

1) ヨアガ アルトワ ウノ トンネルノ ヴェーシャ<sup>2)</sup> ヨッツンパイニ  
用事が あると、 あの トンネルの 上へ 四つんばいに

ナッテツツ ハイズリアガッテ ヨナカニ ソノ モチ<sup>3)</sup>  
なりながら はい上がって、 夜中に とりもちを

シューゾーシ<sup>3)</sup>ン ジャパニ ナリンノアガン ヨッツンパイニ  
作るのに、 じゃまに ならないように、 四つんばいに

ナッテツツ クノ マモ<sup>4)</sup> ハイズリアガッテツツ デテ  
なりながら あそこの 丘を はい上がって 行って

モチ<sup>4)</sup> シューゾータロッガー ナカノヒトノ<sup>4)</sup> ナカノゴアノ  
とりもちを 作ったものでしたよ。 中之郷の

ヒトモ サンジューニングリア キテ コッチカワガ シチニン デテ  
人も 30人くらい 来て、 こちら側<sup>5)</sup>は 7人 出て、

ソノトキノ ウクノー ムコオーノ<sup>6)</sup> スクタチガラデワ アンノカ  
そのときに あそこのね 向こうの ぬくたち<sup>7)</sup>が原では 何か

8) バカソワ バカソワーッテ ユー ハナシガ アラロアガ  
化かす 化かすと いう 話が あったものです。

m ホント ヨク ソゴンドー ハナシワ アローガ<sup>9)</sup> オメーローノ<sup>10)</sup>  
ほんとに よく そのような 話は あったものだ。 あなたたちは

11) バカサレトー コトワ ナカローカ  
化かされた ことは なかったか。

1) [joʌga] 2) [ve:ʃan]  
3) [gʲe:zooʃon] 4) 言いまちがい。  
5) 大賀郷側を指す。 6) [mukoo]  
7) 「ぬくたち」という「いたどり」に似た植物が生えている原。  
8) [bakasoʷa]  
9) [a:ro:qa] 10) [ome-ɾo:ro:no:] 11) 「トー」は [to:]。

大賀郷(八丈島)

f アーヤ アガ キガ <sup>1)</sup>オ オッカナケンテ アラエバ<sup>2)</sup>  
 いいえ、 わたしの 気持ちが 強いので、 わたしは

アンニモ アレヨイ オッカナケ モノワ ナクテ バカサレテ  
 なんにも わたしより こわい ものは なくて、 化かされて

ミンノーワデ<sup>3)</sup> アレーバ アガ オッカナクテクワ ソノ  
 みたことはありません。 わたしは わたしが 強くてねえ、

ウシノ コクン ミツテモ アンニモ バカシンナンテノー  
 ウシ[丑]の 刻に 歩いても なんにも 化かしませんよ。

m ウノ ウクデワ サカノー サゲテ イクトワ ヨク  
 あそこでは、 さかなを 下げて 行くと よく

ヒットラレタリ シタラー テヨー ヒトノ ヨクツツ アローガ  
 とられたり した という 人が よく あったが、

ホントーダカ ヒッカスッテ<sup>4)</sup> ジブンガ ブッコッチー イトッテヤー  
 ほんとうか。 忘れて 自分が 落として おいて

<sup>5)</sup>  
 インジャッタカノー  
 行ったんじゃないのかね。

f ジブンガ シンケ<sup>6)</sup>ーデ ソガン ナルノワ ジャー<sup>7)</sup> シンケ<sup>6)</sup>ーノ  
 自分が 神経で そう なるんでしょうね、 神経の

ヨワケ ヒトガ  
 弱い 人が。

1) 實いさし。 2) [aræba] 3) 「デッ」は [dæ]。  
 4) [jikkasitte] 5) 「ジャ」は [dʰa]。 6) [ʃikæe]  
 7) [dʰə]

大賀郷(八丈島)

m ソゴンダッカノー  
 そうかねえ。

f ニンゲンヨリ オッカナケ モンノ ナン アロカ ヨノナカン  
 人間より こわい ものが あるものですか、 世の中に。

フントー ウノ トンネルノ<sup>1)</sup> デキハジメニ<sup>2)</sup> ユルツツ  
 ほんとうに あの トンネルの できはじめに、 夜

キビナイナー<sup>3)</sup> イチジ ニジン ウクノー トンネルノ ヴェ<sup>4)</sup>ーヨ  
 気味が悪い 1時 2時に、 あそこの トンネルの 上に

ハイズリアガッテ ヨツツンバイニ ナッテ オッカナケ ミチ  
 はい上がって、 四つんばいに なって、 こわい 道を

イコーワツツ コーワカララ コワケンニワ  
 行くのは こわかったですよ、 こわいには。

1) 實いまちがい。 2) [dek|hʰazimeji]  
 3) [kibinae:na:] 4) [ve:ʰo]